

元西武バス労働組合執行委員長

スクープ!!!

高橋袈裟男次長 不当労働行為を働く!

西武労組

発行責任者
はたらく人も、
ほほえむ人へ。
青野 稔

団結

自分の手は汚さず

一般従業員を使う

事件は9月16日に発生しました。この日はたまたま西武秩父駅にて西武観光分会の情宣行動を行うため、西武労組本部役員、西武観光分会役員が集まっ

元西武バス労働組合員でもある深田書記長を名指して「見切ってる」

役員が集まっていた。午前中の情宣行動を終了したところ、常木組合員より一通の不当労働行為報告メールが入りました。内容は「H運転士から脱退を促す話がありまして。高橋次長からと言ってます」

た。「高橋次長と聞いて、ピンと来た方は多いでしょう。そうです!西武バス労働組合の元執行委員長。労働組合の代表を務めたこともある人間が、労組役員を降り、経営側に足を

踏み入れた途端、労働組合(労働者)に牙を剥く。一般従業員を使えば不当労働行為にならないとでも思っていたのか。彼は労組役員時代、何を学んできたのか甚だ疑問であります。

労組役員を降りた途端 労働者に牙を剥く!

H運転士の脱退工作は更に続きました。次のターゲットは林副分会長。事前に常木組合員からの報告で、次は林副分会長に話をすると言っていたとのことだったので、林副分会長と

H運転士の休憩が一緒になる秩父営業所にて役員が待機。林副分会長が休憩室に入ると、予想通り、バスで寝ていたH運転士は動き出しました。H運転士は自分のバスへ林副分会長

を呼びつけ、ドアを閉め、密室状態にした上で話し始めました。会話の内容は常木組合員に話した内容と同様に、脱退を促すものでした。常木組合員と林副分会長2名をターゲットにした切り崩しによる組合弱体化、組合つぶしの不当労働行為であることが明らかとなり、高橋次長は「会社は高橋君と深田君はもう見切っている」などと言う問題発言までH運転士に話していた。会

話を終え、バスから休憩所に向かったH運転士に直接話を聞くべく、高橋分会長と西武労組役員が向かいました。H運転士にいま行っている行為は不当労働行為であること、会社に良いように利用されていること、そして職場を良くしようとしてほしいと話をすると「もう何も言いません」と我々の言葉を聞き入れてくれませんでした。しかしながら、高橋次長が行っ

た不当労働行為は見過ぎすわけにはいきません。当組合は厳重抗議書を西武観光バスへ提出するとともに、労働委員会へ不当労働行為救済申し立てを行うことを決定しました。H運転士を使い、常木組合員・林副分会長に発した言葉は稚拙でありながらも極めて悪質で、この発言のひとつひとつについては今後労働委員会の証人審問で釈明させたいと考えています。次号お楽しみに!

御用組合作りにご用心

西武自動車にて西武労働組合の前身である西武バスグループ分会を結成した際、会社主導による「社員会」と称する組織結成準備を組合員に一切声をかけず、秘密裏に、水面下で行なっていました。この御用組合作りはなぜ行うのかと言うと、一言でいえば「抱き込み」です。組合が結成されるとそちらに組合員が流れ込むのを阻止するため、会社主導でもう一つ組合を作り、その御用組合に要求を吸い上げさせ、その要求に会社が応じ、求心力を第一組合から御用組合へと根こそぎ持っていくとする経営側の常套手段です。これも支配介入の不当労働行為

であり、西武自動車では社員会の結成は労働委員会への申し立てによって阻止されましたが、苦肉の策で出してきたのが西武バス労組でした。西武バス労組は、他社の組合費も払っていない人たちの要求も吸い上げて会社に要求するんだと頭の何が?だらけでした。もしそんな話を聞いたら直ぐに西武観光分会役員にお知らせ願います!これは不当労働行為です。